



さんないまるやま つうしん

第 9 号

平成10年3月31日

青森県教育庁文化課

三内丸山遺跡対策室
〒030-8570 青森市新町2丁目3-1
TEL (0177) 22-1111 (内5251-2)
FAX (0177) 34-8280

三内丸山遺跡対策室 松原分室
〒030-0813 青森市松原1丁目14-11
TEL (0177) 74-0455
FAX (0177) 74-0456

三内丸山通信

今年度を振り返る

平成九年度も三内丸山遺跡では新しい発見やいろいろなイベントなど、多くの情報が発信されました。

発掘調査では三地点を調査しました。その結果、大人の墓が四百二十m以上もかつての海の方へ続き、遺跡北側からは新たに木柱や掘立柱建物跡が、南地区で

はこれまでに例のない深い竪穴住居跡や大型の竪穴遺構が発見されました。また、今後の発掘調査の計画を検討するため、新しく発掘調査委員会を設置しました。

九月の縄文フェスタでは遺跡ではじめて大規模なコンサートが行われ、大勢の方が参加しました。二月に



昨年行われた縄文フェスタ

は青森冬まつりのサブ会場になりました。

見学者も七月に延べ百万人を突破し、今年度は約五十六万人にのびりました。

展示室も拡充し、体験学習への参加も増え、より楽しめる身近な遺跡となりました。

縄文むら復元へ

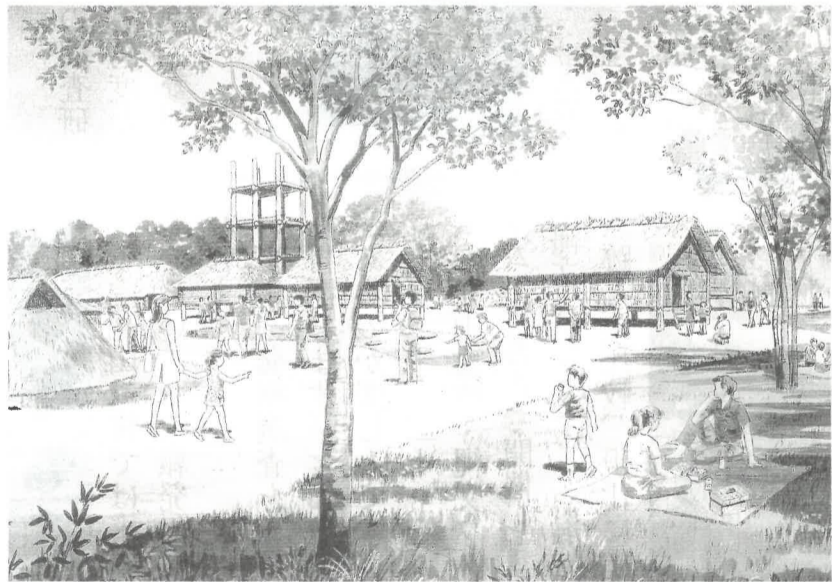
研究・交流の拠点

将来の三内丸山遺跡の整備計画を平成七年から検討してきましたが、一月末の委員会でもとまり、二月二十六日木村知事に報告されました。

計画は大きく三本の柱からなっています。

集落復元では、発掘調査の成果に基づき、当時の縄文むらのたたずまいの復元を目指します。さらに実物の遺構の展示もすることにしています。

植生復元では、分析結果に基づいて、できるだけ当時と同じように集落や



イメージ図

冬の祭典!

スノーマシン三内丸山

「第二十回青森冬祭り」が、二月十三日から十五日まで、合浦公園をメイン会場とし、三内丸山遺跡をサブ会場として開催されました。

「第二十回青森冬祭り」が、二月十三日から十五日まで、合浦公園をメイン会場とし、三内丸山遺跡をサブ会場として開催されました。

「第二十回青森冬祭り」が、二月十三日から十五日まで、合浦公園をメイン会場とし、三内丸山遺跡をサブ会場として開催されました。

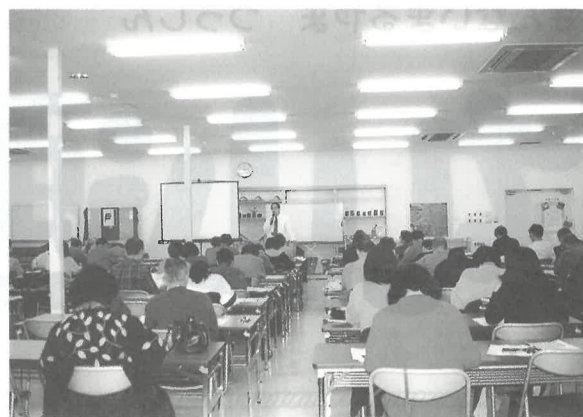


雪像作りに挑戦

「第二十回青森冬祭り」が、二月十三日から十五日まで、合浦公園をメイン会場とし、三内丸山遺跡をサブ会場として開催されました。今年初めて会場となった遺跡では、板状土偶や土器などをモチーフとした十六基の雪像のほか、体験コーナーや縄文鍋の販売など、遺跡ならではの催しが行われました。夕やみが迫ると、入り口周辺が様々な色のライトで照らし出され、また、木々のひと枝ひと枝にイルミネーションがほどこされ、夜空に輝いていました。ライトアップされた入り口を進むと、ろうそくが灯されたミニかまくらが約百基並び、そのほのかな明かりが、大型掘立柱建物や大型竪穴住居などを幻想的に映し出し縄文の冬を見事に演出しました。



ます。対策室ではガイドの手引書やビデオのほか、見学者アンケートの結果、出土遺物、遺構の展示方法、



三内丸山遺跡を案内するボランティアの皆さんは、ガイドを休んでいる冬の間も、熱心に研修を行っています。

冬もガンバつてます ボランティアガイド研修

遺跡報告会

三月二十一日に体験学習館で三内丸山遺跡の調査研究の成果を紹介する遺跡報告会を開催しました。平成九年度の発掘調査やサハリンでの関連遺跡調査の報告に加え、国立歴史民俗博物館の辻誠一郎さんが科学的分析に基づいて当時の森や人の自然利用について講演しました。



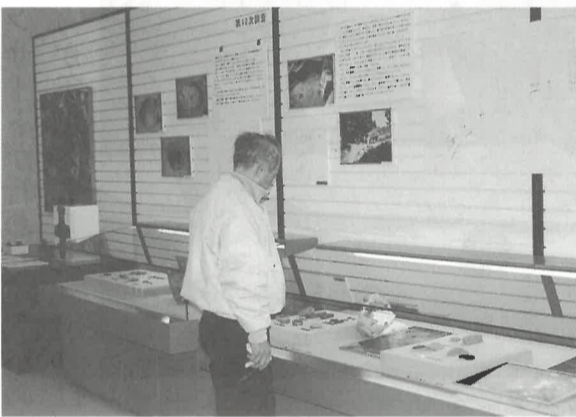
科学的分析などの最新情報を提供しました。また縄文文化や青森の魚や森林、ボランティア活動に関する幅広い研修内容となっています。最終日には遺跡内でガイドの実習を行い、四月一日からの再開に備えます。

発掘調査委員会

第三回発掘調査委員会を、三月三十日に三内丸山遺跡体験学習館で開催しました。

今回は平成九年度の発掘調査成果の検討と平成十年度の発掘調査地点について

最新情報展



今年度の発掘調査の最新情報や出土遺物を三月十六日から四月三十日まで、遺跡展示室で展示しています。



発掘調査のようす

議論しました。

委員会では今後の調査研究について、様々な角度から意見が出され、熱心な討論が行われました。

連載 ⑦

「道路」

三内丸山遺跡からは道路跡も見つかっています。道路跡は台地中央の集落中心部から、海に面した台地の端まで直線的に延びています。その長さは四百二十m以上です。幅は十二m前後で、大人が二十人ぐらい並ぶことができます。土を削り、火山灰の層まで三十〜四十cmほど掘りくぼめています。歩いていたところは堅く締まり、部分的には土を貼り付けています。これは現代の舗装（ほ

今年も遺跡は元気です

三内丸山遺跡では来年度もいろいろな情報発信が行われます。

まず、発掘調査を五月から再開します。どんな発見があるのか楽しみます。

七月二十一日には三内丸山遺跡・縄文フォーラムを青森市で開催します。「縄文人のこころ」や海外の遺跡との比較、現代に残る



そう)に当たるような作業です。

長く延びる道路の両側には、大人の墓が並んで造られています。台地の端は緩やかな斜面で海へ下つていきます。台地から十mほど低くなつており、当時は水辺近くだったと考えられます。そのため、ここは集落へつながらる出入口だったと考えられます。

三内丸山遺跡の「ごあんない」

- 見学時間 9:00〜16:30 (入場は16:00まで) ボランティアガイドの定時説明は四月一日より再開します。
- 交通手段 市営バス 青森駅から運転免許センター行き 三内丸山遺跡前下車
- その他 園路は除雪を行っていますが、歩きやすい靴でおこしください。